

がん

現 状

福生市の主要死因別死亡割合では悪性新生物（がん）が 29.6%と大多数を占めています。がんでの死亡割合は年々減少傾向にありましたが、平成 26 年(平成 26 年1月1日～12月31日概数)は増加に転じました。がんの中では気管・気管支及び肺が 26.2%、胃及び結腸が 11.6%、膵（すい）が 11.0%の順に高い割合を示しています。

福生市と西多摩圏域全体との比較を行うと、西多摩圏域全体の悪性新生物（がん）での死亡割合は 24.8%となっており、福生市のがんによる死亡割合は西多摩地域の中では上位となっています。（出典：西多摩保健所事業概要平成 27 年版）

がんを早期発見、早期治療につなげるためには、検診が有効であると言われていますが、福生市のがん検診受診率は、大腸がんは 34.5%でしたが、他のがん検診は 2%台から 5%程度を推移しており、決して高い受診率とはいえません。（平成 26 年度福生市事務報告書）

なお、市民アンケートの中で、気になっている病気について尋ねる設問に対する回答では、男性、女性とも「がん」を挙げる方が多い結果となりました。

【福生市民の健康に関するアンケートより】

問 38) あなたが最近気になっている病気は何ですか。主なもの三つに○を付けてください。

(%)

項目	合計		
	男	女	
1 がん	17.9	19.2	17.0
2 高血圧症	10.9	12.1	10.0
3 高脂血症	7.6	7.1	7.9
4 糖尿病	10.3	13.7	7.8
5 脳卒中	6.3	7.8	5.2
6 骨粗鬆症	7.3	0.8	12.0
7 心臓疾患	5.6	7.1	4.4
8 うつ病など心の病気	7.1	5.6	8.2
9 歯周病	8.6	7.5	9.3
10 肝炎	1.1	1.5	0.9
11 肺炎	2.5	2.7	2.3
12 COPD	0.8	0.9	0.7
13 メタボリックシンドローム	7.4	9.2	6.2
14 ロコモティブシンドローム	3.3	1.7	4.6
15 その他	3.3	3.1	3.5

複数回答設問：気になる病気について回答のあった方（660 人）の集計

課題

福生市民の死亡要因第1位はがんである

がん検診の受診率が低い

- がんに関しては、多くの方が困難な疾病の一つであると認識していると思われるので、今後も早期発見、早期治療につなげられるよう検診事業のPRを図っていく必要があります。

目標

- ◆ 各種がん検診を受診するなど、日頃より体調管理に努めましょう。

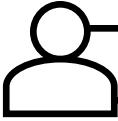
指標

指標	現状	目標
健康に関して気を付けていることがある人の割合（問37）	全体 69.5%	↑ 増やす
がん検診受診率 （平成26年度福生市事務報告書）	胃がん 2.8% 肺がん 2.4% 大腸がん 34.5% 乳がん 5.0% 子宮頸がん 4.2% ※1 対象人口率に基づく受診率	↑ 増やす
がんの死亡割合 （西多摩保健所事業概要平成27年版）	29.6%	↓ 減らす

※1 対象人口率とは

対象年齢の住民のうち、職場や人間ドック等でがん検診の受診の機会がある人と、入院や治療中等で検診を受診できない人を除いた割合のことです。

取組



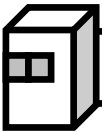
一人ひとりが取り組むこと

- 各種がん検診を受けましょう。また、検診は継続して受けるようにしましょう。
- 検診で要精密検査と診断された方は必ず精密検査を受けましょう。
- 日頃からバランスのとれた食事を取り、適度な運動を行い、ストレスを軽減する生活を心掛けましょう。
- 喫煙している人は禁煙にチャレンジしましょう。また、分煙を必ず守り、周囲の人に副流煙の被害が及ばないようにしましょう。



地域で取り組むこと

- 医師会は検診結果から精査が必要な方へ説明し、二次検診受診を促します。他の疾患で通院中の方々もがんの可能性を配慮し診療します。がん治療中の方へは再発に注意し必要な場合には専門医へ紹介します。また、生活の質を維持できるよう配慮します。



市が取り組むこと

- 各種がん検診を実施します。
- 婦人科のがん検診を受けることがためられる方等のために女性医師による婦人科集団検診を実施します。
- 地域の施設等に出向いて、保健師や栄養士による健康相談事業を実施します。
- 検診の機会を活用し、各種がん及び生活習慣病に関する知識の普及啓発を図ります。